

潮寿荘だより

平成29年7月19日発行
発行：特別養護老人ホーム 潮寿荘
記事：7月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：永川セツ(93歳)

たなばた



今年も、入居者の皆さんが楽しみにしている七夕がやってきました。お昼ご飯から、三色そうめんが盛り上がり、



に短冊♪と元気に歌って、お菓子を美味しくとる大きな声で「ありがとうございます」と言ってくれました。「こんなに一杯になるなんて」と驚いていた子もいました。(入居者全員から一つずつもらえるので、潮寿荘、潮太郎、はこだてつ潮で計70個位集まります)

いるなか、地元の子もたちより一足早く来てくれたのは、介護士小野寺の愛息子、悠斗(はると)君と泉慶佑の愛息子、笑吉君。悠斗君は最初泣き出してしまったのですが、たくさんのお菓子をもらったので満悦。その後は浴衣や甚兵衛を着た子供達が続々と到着★

総勢40名もの子供たちがお菓子をもらいに来てくれました。皆♪竹く



照子さん

泉け介護士と息子の笑吉くん

「はあげられない」と言っていたのは(石)栄子さん。お菓子はまだまだたくさんある事を伝えてやっと子ども達に配ってくれました。七夕飾りの短冊にも、色々な願い事がありました。やはり多かったのは「健康」を願ったもの。その次は「食べ物」についてのお願いでした。一番印象に残ったのは美枝さんの「東京に行つて、銀座で遊ぶ」です。また、薄毛で悩んでいる介護士、石岡と石黒は「髪が生え続けますように」アラサーの独身介護士泉(孝)は切羽詰まったように「早く結婚したいんです。お願いします」と書いていました。これらを見た入居者さんたちの反応は、同情したり笑い飛ばしたり「あんたいくつなの?」と聞いていた方も。数ある短冊の中で内村介護士の願い事は「妻の笑顔がたくさん見られますように」で、とても反響が良かったです。普段から



天気に歌ってくれた子どもたち

竹に短冊



金城介護士

芳蔵さん



(福)節子さん 円吉さん

「妻が待っているの...」と足早に帰って行く内村介護士らしい願い事。「どれだけ奥さんを愛しているのか」と仄子さんと仄子さん。織り姫と彦星もうらやましがるようなステキなお願いですね♡ちなみに私のお願いは「落ち着いた行動が出来るようになりたい」でした。たくさんの子ども達から元気をもらった入居者の皆さん。夏祭りや旅行など、楽しい行事がまだまだあります。今年の夏も一緒に元気に過ごしましょうね。(愛車をシルバーから若い子らしい水色の車に買い換えた介護士・宇美)

野外食



だんだん日差しが強くなり、もうすぐ夏本番！そこで6月19日の夏、初の毎年恒例の野外食「流

しそうめん」が行われました。(本当の初回は5日だったのでですが寒かったので屋内になりました)

当日の天気は晴れ☀️皆さん麦わら帽子で、誰が誰だかわからないので「〇〇さん、どこですか〜」「は〜い👏」おかずを配るこの時点から気持ち盛り上がってきます。流し始める前に、めんつゆを飲み干している方もいて、麺が流れ始めた

ら、もう気持ちはマックス!!! 「見えない、取れない」と隣や向かいの人が言っているのを聞いた幸



初めての野外食 眞佐子さん



外で飲むビールは最高!!

喜一郎さん

子さん、自分が食べるのを後回しにして「ほら、食べな〜」と、どんどんそうめんを他の人の器に入れていきました。「ありがとう」と言われるとさらに加速!「もうお腹いっぱい」と言われるまで入れ続け、最後に自分のそうめんを召し上がっていました。

慶子さんは、おかわりどうですかに「もういいです」と言いながらも「うどんちようだい。こんな美味し

いんだもの、もっと食べたい」とおかわり。 普段は職員がお手伝いしないと食べて下さらないキミエさんも、いつものまにかそうめんは空っぽ。

途中から風が吹いてきましたが、皆さん「美味しい」「楽しい」と食欲倍増! 雰囲気を楽しみながら召し上がっていました。外で食べるのは本当に気持ちが良いものですね。

次回も晴れますように。(子供が大きくなって趣味も少しずつ出来てきた介護士・小野寺)

ちょっと楽しい? 宿直一年生

早いもので、潮寿荘にきてから1年6ヶ月が経ちました。私がここに来たのは、平成27年12月。

介護業界の事務職は初めてで、こうして仕事を続けられるのは、同じ職場で働く皆さんの助けや、入居者の皆さんとの何気ないお声掛けがあつてこそだと思っています。

そんな私ですが、今年の1月から、月に1回の宿直業務に入ることにになり、入居者の皆さんと身近に接する機会ができるようになりました。

普段は事務室で仕事をしているので、入居者さんとかかわる事が少なく、「自分にできるのかな?」と不安になっていました。初めは慣れないせいか、入居者様の座る位置や使用しているエプロン・コップの置き間違えて、入居者様からお叱りをうけていましたが、今では大分慣れ、入居者の皆さんが朝起きてきた時にかけてくださる「おはよう」の声に、元気をもらっております。

中でも、一番うれしかったのは阡子さん。私は自分の名前を阡子さんに話したことはなかったのですが、阡子さんから「亀田さん、タオル返すね」と言っていて下さったことに驚きました。聞けば、誰からか私の名前を聞いて憶えたとの事。そんな阡子さんに、「すみません。まだまだ至

らない点があるかと思いますが、これからも宜しくお願いします」というと、「ニコっ」としてくださりました。月1の宿直が、今の自分にとって、皆さんとの会話や笑顔に癒される貴重な時間になっています。 これからも、体力が続く限り宿直業務もこなしていきたいと思えます。(最近体重が増えて腰が痛い事務員 亀田)

8月よせい
4日誕生会
7日野外食(流しラーメン)・夜間想定避難訓練
9日墓参り
16日スイーツバキング(い3んな果物、白玉、い3んなフラッパ等)
21日野外食(流しそうめん)

7月29日(土)
18時30分~20時
花火は19:45頃開始です

お車でお越しの際は運動公園パーキングエリアをご利用下さい。送迎バスが巡回しています!
焼き鳥・焼きそば・かき氷等売っています

ご寄付ありがとうございます
増川紀子様・高橋耕司様